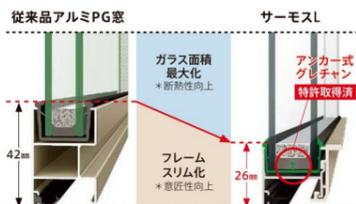




アルミと樹脂のハイブリッド構造で、断熱性能が大きく向上。

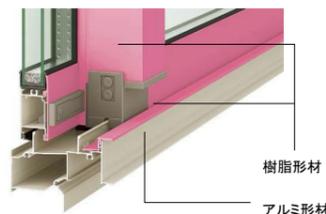
フレームをスリム化し
ガラス面積最大化

窓の断熱性能を高めるためには、熱を通しやすいフレームを小さくし、熱を通しにくいガラス面を大きくする必要があります。サーモスは、アンカー式グレチャンを採用することで、ガラスとフレームを一体化。フレームの極小化とガラス面積の最大化により、優れた断熱性能を実現しています。



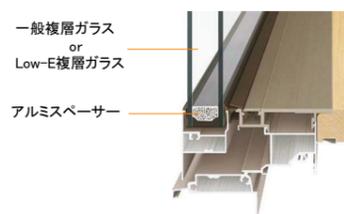
多層ホロー構造で断熱性を高め
フレーム高性能化

室外側に耐久性や強度に優れたアルミを採用し、雨、風、日差しによる劣化を防止。室内側には断熱性に優れた樹脂を採用し、熱の出入りを抑えます。



高断熱を追求し、ガラス高性能化

2枚のガラスと中空層で断熱効果を高める「一般複層ガラス」と、特殊金属膜の効果で一般複層ガラスの約2.0倍の高い断熱性を発揮する「Low-E複層ガラス」の2タイプをご用意。オプションで、熱伝導率の低いアルゴンガスの封入も可能です。



カラーバリエーション

■外観色



シャッター付引違い窓
イタリヤ手動



楽な姿勢で開閉操作が可能です。

ヒシクロス面格子付引違い窓



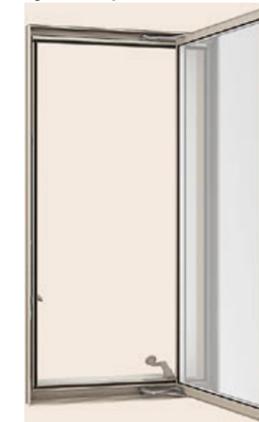
引違い窓



横すべり出し窓
オペレーター



縦すべり出し窓
オペレーター



採風勝手口ドアFS
ヒシクロス格子



上げ下げ窓FS



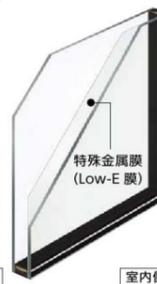
FIX 窓



■Low-E複層ガラス

室内側か室外側の1枚をLow-Eガラスで構成した複層ガラスを採用しています。

クリア



カラーイメージ



※透過光と反射光で色調が異なって見える場合があります。

室内側のガラスに無色透明の特殊金属膜をコーティングすることで、優れた断熱性能と日射熱取得率の両立を実現しました。透明度が高いので採光性にも優れています。冬の寒さが厳しい地域や明るさを確保したいお部屋におすすめです。

※上記掲載の各写真・イラストはイメージです。見積内容とは異なる場合がありますので、ご注意ください。

遮熱高断熱複層ガラス



遮熱高断熱型Low-E複層ガラス

遮熱

西日や夏の強い日差しをカットし、冷房効果を高めて、涼しい快適な室内環境にします。

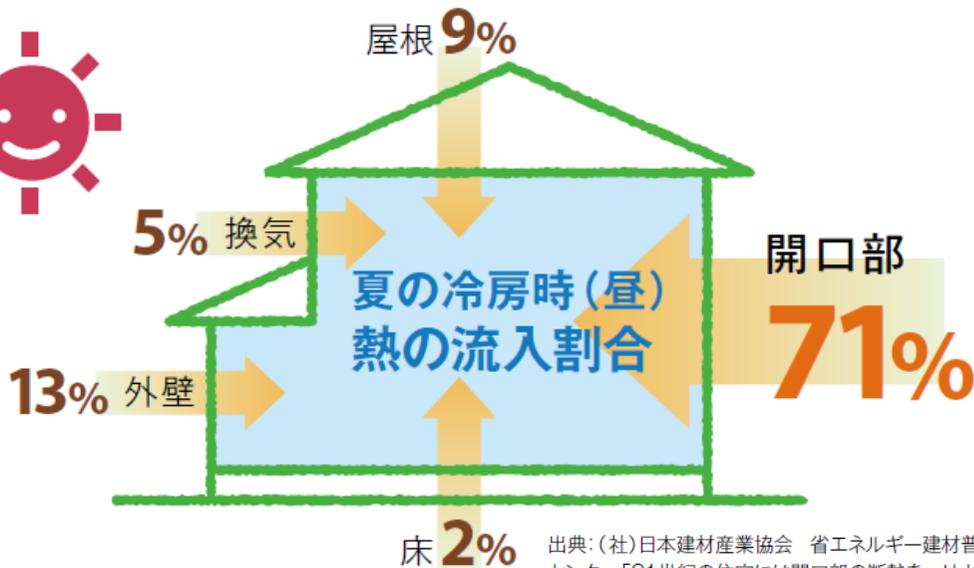
断熱

室内の熱を逃げにくくし、冬の窓面の冷え冷え感を減らします。暖房効果を高めて、快適な室内環境にします。

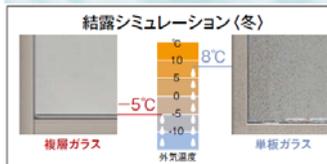
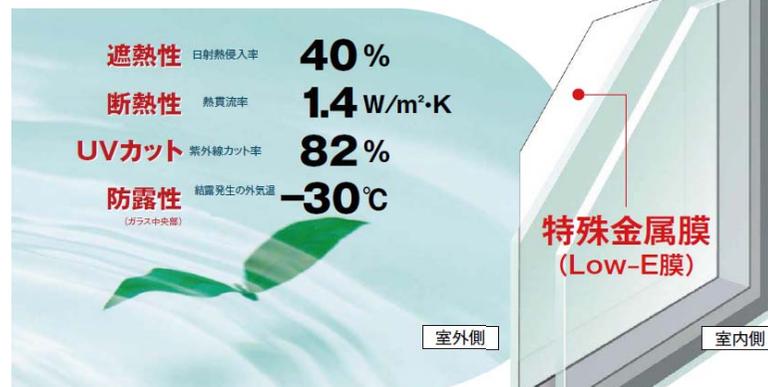
防露 (ガラス)

カビやダニの発生原因にもなる結露の発生を抑えます。(ガラス部分のみ)

夏



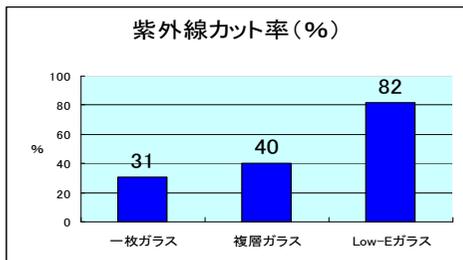
出典：(社)日本建材産業協会 省エネルギー建材普及センター「21世紀の住宅には開口部の断熱を…」より平成4年省エネ基準で建てた住宅モデルにおける例



【算出条件】
○室内風速：自然対流
○室外風速：6m/s
○冬のシミュレーション：室内20°C 湿度60%
※写真は、同じ外気温条件での比較です。

特殊金属膜効果で、夏は強い日差しをカット、冬は暖か。

室外側ガラスにコーティングした特殊金属膜により、夏の強い日差しを約60%カットし、冷房効果を高めます。紫外線もカットするため紫外線による日焼けも抑制。また、断熱効果は、高断熱複層ガラスと同等以上で、一般複層ガラスの約2.0倍です。



結露が発生する外気温(ガラス中央部)

一枚ガラス	8°C
複層ガラス	-4°C
Low-Eガラス	-18°C

※室内温度20°C、室内湿度60%

遮熱性能	断熱性能	紫外線カット
日射熱取得率(η)	熱貫流率(W/m ² ·K)	紫外線カット率(%)
日射熱を取り込む、遮る割合	熱の逃げる割合	紫外線(UV)を遮る割合
0.40	1.4	82